

まちづくり懇談会議事録

日 時：令和 3 年 11 月 8 日（月）18：28～19：47

場 所：東山会館

出席者：9 人

1. 開会

2. 町長挨拶

※配付資料確認および日程説明

3. 懇談

（１）第 7 次総合計画の策定について（別紙 1・2 参照）

（２）自由懇談

4. その他（情報提供）

（１）国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料の減免について（別紙 3 参照）

5. 閉会

《懇談内容》

【自由懇談】

町民：空き家情報なのですけど、町の担当窓口は何課なのですか。

副町長：ホームページに空き家バンクというのがございまして、そこで売りたい貸したいという情報を担当しているのが若者定住推進課です。そこが窓口となります。

町民：私のところに話が来るのですけれど、いろいろ私の知る情報を教えているのですけれど、田舎ではなく近所が少し離れているところを探している方がいて、今も実際探している人が何人かいるのです。その中で、一人は継立の家を見つけて住まわれていますけれど、もう一人の方は残念ながら、由仁町にいますのですけれど、少し近所が離れているところを皆さん探しているようです。

副町長：若者定住推進課の方にも問い合わせが来ていまして、やはりコロナ禍という状況もあって、街中よりも少し離れている空き家の情報はないかという問い合わせは多く来ています。

町民：都会より肉体労働関係の方が探しているみたいです。

副町長：そういった情報を集めて発信していけるように、そのような仕組みをまとめていかないといけないと思っています。

町長：去年も今頃、ここで同様に懇談会をやったのですけれど、その時に出ていた意見でなかなか進まなかった旧継立中学校の跡地活用で、まだ正式ではないですけど、決まりました、大阪の企業なののですけれど、アウトドアで福祉の仕事もしている会社で、かなり大きな会社で継立のグラウンドを使っのキャンプ場、校舎を使っのレンタルオフィスとかシェアオフィス、今こういう時期のおかげで、全国的にも展開している企業でして、あ

とは、継立の地域の方々にしっかり説明をして議会の手続きを踏んで、早ければ来年の7月ぐらいにオープンするのが、今のところの予定みたいです。そうすると、この東山も含めて南部地域の1つの拠点みたいなものになってくるのかなと思っていますので、少しづついろんな企業が栗山に来ていただけるようになったので、工業団地のコーングリッツをつくるN-GRITS、あとは、滝下の方にイワタニ・ケンボローと言って、豚の人工授精を行う会社も入ってきています。ここ3、4年でいくつか出て来ています。若い方を引っ張って来ても、働くところがなければ駄目だという話があるので、そういう企業が少しずつ来て、雇用の場が少しできてくれれば良いかなと思っています。新規就農の方も今日いらっしゃっていて、ここ東山が一番新規就農の方が入っていただいているのです。我々が平成26年から力を入れ出してそれから16組が入っていただいたのです。そのうち4組が東山の方に入っていただいているのですけれど、今年の夏、新規就農の方のところを回ったりしているのです。町に対する色々な要望はないかと聞いて回っていたのですけれど、その時に出ていたのが、住宅改修とか取得とか、そういったものに対する支援が足りないのではないかというご意見がありまして、町の若者定住政策で住宅支援があるのですけれど、条件もあるものですから、マッチしないというか時期がずれたりしたら駄目なので、もう少し柔軟にできませんかという話をいただいています。

町民：僕は満足していますけれど、地域のまちづくりとして地域間を結ぶ交通手段というのがちょっと物足りないなと思ってまして、例えば札幌千歳までのアクセスを夜間でも移動できるような、町として単体ではだめでも、長沼、由仁と合同で航路を作ってくれたら、もう少し栗山町のことをよく知ってもらえたり、人に来てもらえるようなまちづくりになるのではと思いますけれども。

町長：別の会場でも千歳への交通手段が乗り換えないと行けないということで、なんとかならないですかねという意見が出ていたのです。今、栗山の234号線を通って旭川空港から千歳空港までの高速バスが4往復しているらしいのです。担当の経営企画課でも栗山に停まってくれないかというような話をしているのですけれど、なかなか実現できていないということがあって、千歳空港から1時間というPRポイントはあるのだけれど、車で1時間で来れるけれど、車でなければ乗り継いでいかないといけないのでかなりの時間がかかるということで、今、ご意見出されたような都市間バスの充実ができれば良いのかなと思うのですけれど、高速バスは9便走っていて、一番最後は札幌から9時半ぐらいですね。

町民：もう少し遅い便ですと、家族と食事して帰ってこれる時間帯かな。

町長：僕はお酒飲む方で、妻は運転できないから、行ったら飲めないところがあるけれども、そういった時間帯のバスがあるとバスで行ってお食事してちょっと飲んで帰ってくることができますからね。今、室蘭線、JRが存続の危機に立たされていますけれども、こればかりはどうなっていくかわからないのですけれど、この室蘭線の区間は、他の地域とは違って恵まれていると言えば恵まれているのです。鉄道も走っているし、バスも走っているのです。他の地区、廃線候補に上がっているところは、鉄道しかないのです。だから、鉄道がなくなったらバスに転換するとか、そういうやり取りがあるのですけれど、ここは両方走っているものだから、なかなか乗車率も上がらないとか、そんな問題もあるのです。苫小牧、岩見沢、栗山、由仁、安平町、この2市3町でなんとか室蘭本線を存続させるためにいろんな乗車率の高まるような活動もしているのです。そして、前回、光回線の話が

出ていましたよね。今日、担当が来ているので説明します。

総務課参与：光回線の関係なのですけど、現在、既存に建っている建物について、栗山町全戸に行き渡るような形で工事を進めているところです。スケジュールに関してですけど、実際に使える状況ですが、現在工事を進めておりまして、この工事が大体今年度中で完成予定ということになっております。完成後、総務省の方に完了報告をしまして、審査の報告が上がるまで大体 2 カ月程度かかるので、その後皆さんに光回線の受付を開始という形で、いつからサービス提供開始というお知らせができるのが大体夏ぐらいになるかと思いますので、概ね来年夏ぐらいから開始ができるのではないかなということ、今進んでいるところです。栗山町全戸に行き渡るように進めておりますので、よろしくをお願いします。

町民：当初、3 月か来年の春ぐらいには開通予定と聞いていたのですが。

総務課参与：今年の 2 月に説明会をやった時に、一応工事の方はそれぐらいで終わるよということでお話ししてしまして、実際はそこから申請という行為があったものですから、今お話しした通り、皆さんがお使いできるのは夏ぐらいということになります。

町長：光回線の整備は早くやりたかったのですけれど、NTT にしても申し込みをたくさんとってやっていかなければならないのですけれど、栗山は今整備する前は 95% は光回線が通っている地域なのです。残り 5% がこちらも含めた南部地域、かなり広い地域が NTT いわく採算性が取れないということで、なかなか話が進んでなかったもので、今回のコロナの関係で非常に大変でしたけれど、子供達の学習環境なども含めてこれはやはり推進しなければ駄目だということで、かなり国の方で予算をつけてくれて、コロナが一つの栗山の光回線を後押ししてくれたような感じです。できるだけ早く整備させていただきます。あと、圃場にヒグマが出ましたよね。今年は多くて、栗山だけで 9 件目撃だとか足跡だとか、少し生態系が変わってきているのか、全道的にそうなのです。なかなか個体が悪さをするというか、畑のものをぐちゃぐちゃにするとか、人に被害を加えるとかになれば、それは悪い個体ということになるので駆除できるのです。それ以外でただらろついているとかの場合は、山に帰すことが基本の対策なのです。だから、動物愛護法だとかいろんな法律の絡みがあって、なかなか踏み込めないでいて、不安な日々を送られた方もいらっしゃるかなと思います。

町民：山に帰すというのはどういう形で返すのですか。

町長：例えばハンターが追って行って帰すという形です。

町民：すぐに殺すわけではなく。

町長：殺せない、駆除できないのです。悪い個体でない限りは。

町民：ごみはすごく気を付けています。埋めようと思えば埋められるし、堆肥を作ろうと思えば作れるのですけど、脇を掘って中を出したりするので、ごみを出すようにして、捨てないようにしているのです。小動物も来ていますけれど、ごみはすごく気を付けています。

町長：このようになったのは、ここ 2、3 年らしいです。それまでは北海道の方で個体調査といって、数の調整を春の駆除時期にやっていたらしいです。それが動物愛護の関係で、できなくなってしまって、それから急激に頭数が増え出したらしいです。毎年、春先に個体調整である程度駆除をして、あまり人里に行かないくらいの個体数にして調整していたのです。それをやらなくなったというのが、すごく増えている要因です。専門家の人も今、北海道の山に何頭いるのかわからないということです。数が 6 千頭から 1 万 7、8 千頭

まで、そんなに幅のある統計なんてないですよ。何頭いるのかわからないくらい野晒し状態になっているのです。そこをしっかりと個体調整をしてもらいたいという要望は僕らも出しているのです。

町民：新規就農者の担い手対策があると思うのですが、今年研修生が入っていないです。去年までずっと何年か続けて入ってきていたと思うのですが、今年入らなくなったのは何か理由が、来る人がいないのか、それとも町として受け入れなくなったのか、何かあったりするのですか。

町長：一番の原因はコロナです。ずっと、東京、大阪、札幌も含めて、会場に出向いて就農相談を受けて、興味がある方については、一度栗山に研修に来ないですかという話し合いをさせていただいて、そして来ていただいて、それから新規就農に結びついていたという流れなのですが、それが一切できなくなって、そこが影響しています。なかなかオンラインでやるといっても、僕も昔人間なのでしっかり顔をみて肌で感じるものもあります。行って話を聞いて、それができなくなったのが、少し今、抑えられていますけれど、これからまた再開しています。先月、東京の方に農業振興公社の方で行っていますので、これからまた少し良くなってきてくれれば良いのですけれど。

町民：インフルエンザのワクチンがもう既に町内医療機関は満杯であるという話を聞きまして、両親がどうしたら良いのだと言っていたのですけれど。

総務課長：今、国の方からも情報が入ってきていまして、在庫が去年に比べて7割しか整備されていなくて切れているようなのですが、厚生労働省によると、去年と比べて65%の量しかまだ出荷できていなくて、残り35%が12月に出荷されて各病院に行き渡るだろうという話なのです。今、在庫がなくてワクチンを打てなくても、12月になれば生産量の残り3分の1が各病院に配られるようです。今、病院に電話をかけてもワクチンがないので打てませんと言われると思うのですが、12月のいつの時点か私どももわからないのですが、追加でワクチンが整備されますので、タイミングを見計らってかかりつけの病院もあるかと思しますので、問い合わせいただければ、病院の方も自分の病院に来てくれる方を優先に打っているようなのですが、ワクチンが配られれば、打てるようになるのかなという状況です。今はワクチンがないと言われることが多いようです。病院によっても、普段通院してくれている方を中心に打っていくこともあるかと思ひます。かかりつけ医に通われているのであれば、そちらで打たれる方が良いかもしれないです。

町長：最後に皆さん、マイナンバーカードを持っていますか、今、全国的に普及率がかなり少ないのです。そして今回、経済対策でマイナポイントが付与されることがあるので、これから、デジタル化が国の方でどんどん進むことになりますので、町もマイナンバーカードの町内の普及率を高めていこうかなと思っているのですけれど、今、保険証として、使えるようにしているケースが、まだ伸びてないです。そしてこれからデジタル化の時代になってどんどん医療機関にもそういう機器が入りますし、そうなりますと遠隔で先生の診察を受けられるようになったり、そんなような時代がすごいスピードで来ると思いますので、もし、持っていない方は取得していただいて、健康保険証だとかどんどん機能も増えていきますので、そんなところもみんなで考えていかなければ駄目かなと思っています。この間、滝下の方で懇談会があったのですが、今はバスがないと駄目だよと、でも、足腰弱くなってバス停にも行けない、バスにも乗れない状況になったときに今通っている病院にどうやって行ったら良いのだという切実な思いをお話しされる方もい

らして、これからは病院まで行かなくても、デジタル化の時代が進んでいく中で、先生とオンラインで診察を受けたり、なかなか診療までいくと難しいですけど、今回コロナ禍で特別にその薬の処方などをやっていますので、いずれそういうところまで行く可能性もありますので、そういう対応も、町もしっかり考えていかなければ駄目かなと思っていますので、ご意見等あれば、お寄せいただければと思います。

19 : 47 終了